

自分を守る！		▶重要資産の防護と回復力の強化		重要施設を防護する		この取組のポイント		
008	サプライチェーンの確保を目指した徹底的な BCP					✓ 自社や関連企業のサプライチェーンの確保を重視した BCP ✓ 水害や地震に備え、実効性の高い取組を数多く実施		
	取組主体		従業員数		想定災害			
	株式会社トヨックス		332 名		水害			
				実施地域		富山県		

ホースの製造販売を行う株式会社トヨックスでは、平成 23 年より水害対策を中心とした BCP に基づいた活動を継続している。

1 取組の特徴（特色、はじめたきっかけ、狙い、工夫した点、苦労した点）

取引先の操業停止で原料調達に苦労した経験から BCP 策定に取り組む

- 合成樹脂性耐圧ホースメーカーの株式会社トヨックスは、国内シェア率が極めて高い製品や独自技術によるオンリーワン製品等を抱えている。同社からの供給が滞った場合代替が効かない製品もあることから、災害が起こった際であっても製品を安定供給することが求められている。同社は顧客評価アンケートで納期遵守が高く評価されていたが、東日本大震災の際には、所在地の富山県黒部市では震度 3 程度で工場等の被災はなかったものの、太平洋側にある取引先の主原料メーカーが被害を受け、原料供給不能の事態に陥った。
- その後、半年間程度は、調達に労力と費用がかかり、苦労をしながら工場操業を維持した。この経験をもとに同社では、サプライチェーンをはじめ、対策を「できることからとことんやって行こう」と BCP 活動を立ち上げた。

地域の災害リスク、水害対策に重点的取組む

- 昭和 60 年に近隣の河川氾濫で浸水して以降、本社工場がたびたび浸水の危機を経験していることから、同社では水害対策を重視した対策を実施することとした。例えば氾濫の危険が高い場所に雨量監視・警報メールシステムと監視カメラを設置し、スマートフォンで関係者が 24 時間観測できるようにした。ハード面では 500 年に 1 度の浸水レベルを想定して、倉庫前約 1m の防水版を設置したほか、配電盤を 1 階から 2 階に移すという工夫を行った。
- また、同社の従業員は年に 1 回 BCP の実施訓練を行っており、災害を想定した土嚢や防水版の設置、排水ポンプの設置、起動のほか対策本部の立上げと社内外との連携等についての訓練を実施している。



一部の機器を 2 階へ移設



水害の発生に向けた訓練の様子

工場・物流拠点ともに分散化・強靱化を進める

国土強靱化

- 同社では水害のほか、地震や疫病・ウイルス感染、IT ウイルス感染等のリスクに対する取組も進めている。
- 工場の BCP については、工場の分散化と工場の防災力強化の 2 つに重点的に取り組んでいる。工場の分散化については、国内外において自社工場に加えて協力会社を加えた体制を準備しており、災害時のバックアップ体制の充実に努めている。また工場の防災力強化策としては、上述の水害対策に加え、設備の固定化等地震への備えを強化している。
- またサプライチェーンの重要性を踏まえ、物流面での BCP についても実現性の高い計画づくりを進めており、災害時の製造ラインの想定復旧期間等を踏まえ製品の在庫の量を増やすこととし、万が一生産機能が停止した場合であっても、安定納品ができる体制としている。また工場と同様に在庫拠点の分散化、水害・地震リスク対策の実施に取り組んでいる。
- 顧客アンケートの結果、同社をプラス評価する項目の 2 番目に「製品の納期厳守」が入っていた。BCP 対策をすることで、顧客の安心感や信頼感を得ていることの実感が、全従業員のモチベーション向上にもつながった。

2 取組の平時における利活用の状況

- 同社は従業員とその家族の命と生活を守ること最も重要としており、支店の従業員やその家族には、地域防災センターを活用しての初期・避難行動の実地訓練と配布してある非常食の使い方を学ばせている。
- 同社は、サプライチェーンを強靱化するため、関連工場に BCP の策定を呼びかけている。また、商品の安定供給のため、生産と物流拠点を国内外に分散化した。

3 現状の課題・今後の展開等

- 同社に部品や材料を供給するサプライヤーの BCP 策定・運用率が約 30%と高くはない状況であり、同社の安定納品のリスクとなっている。このため同社では関連企業の BCP 策定にも働きかけを続ける方針である。
- 同社の BCP 活動の基本方針は「とことん継続」である。同社では、中小企業の枠にとらわれることなく、対策の深化と変革に邁進し、想定不能の災害に備えることとしている。

4 周囲の声

- とにかく地震、水害、パンデミック等々沢山の対策を毎年継続され、BCP のレベルが上がっていることが実際に見て感じました。工場内に設置された雨量計から会社幹部への警報メール、現地映像をスマホで確認するなど正確で素早い行動ができる体制は、株式会社トヨックスとの取引継続への安心感につながりました。（工場見学に参加した顧客）

担当者の声



網羅的な BCP が顧客からの評価につながる

- 顧客アンケート結果から、BCP 対策が顧客の安心と信頼につながっていることを実感しています。
- サプライチェーンにも着目しており、災害時に代替先調査が迅速に行えるようにしています。また、工場自体の強靱化を図るため、水害だけではなく、耐震対策やパンデミック対策も実施しています。

問合せ先

株式会社トヨックス 法人番号: 1230001007383
TEL 0765-52-3131 FAX 0765-52-4245 E-Mail bcp@toyox.co.jp